

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7406 社会福祉			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜4限				
教室	J204教室				
代表教員	堀川 祐里				
担当教員	堀川 祐里				
テーマと到達目標	社会福祉のあり方を歴史的な視点から解明することが本授業の目標です。「福祉」というと、漠然と自分には関係ないことのように感じている受講生もいるでしょう。しかし、実は日本で生活する多くの人にとって、生きていくためには欠かすことのできないものなのです。この授業では、将来、社会人として生活を送ることになる受講生に、社会福祉について学ぶ機会を持ち、社会人として自立する力を身につけてほしいと思います。				
概要	社会福祉で学ぶ内容は、前期開講科目である「社会政策」のうち、生活問題の部分に相当しますので、「社会政策」とともに履修することで理解が深まります。 この科目では、まず前半に社会福祉の理解の基礎となる、社会政策の歴史を概観します。そのうえで、後半では現代の貧困を考えたうえで、働く人の生活を守るための労働保険、社会保険、そして貧困に陥ったときに人々を救う公的扶助（生活保護）について学んでいきます。 なお、授業全体を通して、ジェンダーの視点で社会を観察することにも挑戦していくので、「働く女性の歴史」や「労働と経済」の授業を受講し、多角的な視点から現代日本の労働と生活について考えてほしいと思います。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション：授業計画、成績評価、注意事項等に関する説明。				対面授業
第2回	社会福祉とは何か：困窮している人の救済は他人事か				対面授業
第3回	期末・小レポート提出の説明				対面授業
第4回	ジェンダー視点からみた労働者の生活				対面授業
第5回	社会政策の歴史的展開①				対面授業
第6回	社会政策の歴史的展開②				対面授業
第7回	戦時期日本の母子と貧困				対面授業
第8回	賃金と社会保障				対面授業
第9回	労働保険				対面授業
第10回	社会保険				対面授業
第11回	映像資料から学ぶ現代日本の貧困				対面授業
第12回	現代の貧困について考える①				対面授業
第13回	現代の貧困について考える②				対面授業
第14回	公的扶助 貧困と生活保護				対面授業
第15回	まとめ：現代日本の社会福祉の課題				対面授業
成績評価の基準	3種類の評価方法の総合評価であり、その内訳は、期末試験50%、期末・小レポート30%、その他20%です。 ※期末試験は持込不可です。 ※期末・小レポートは、授業内で書き方のレクチャーをおこないます。半期間、十分に時間をかけて取り組んでください。 ※その他として、授業内でのリアクションペーパー等の課題をおこないます。 ※欠席時数が全授業時数の3分の1を超えたものは期末試験の受験資格を失います。				
履修にあたっての留意事項	授業に関する詳細や注意事項は初回の授業で説明するため、この講義の受講の意思がある場合、また受講するか否かを検討している場合には、第1回目の授業に出席してください。 「成績評価の基準」に記しているように、定期試験だけを受験して満点を取っても、小レポート、その他の課題での得点がない場合は、単位が付与されないので注意してください。 皆勤が原則であるため、出席自体は評価の対象とはなりません。授業では自分で「メモ」を取ることを重要視しています。 なお、各回の授業内容は受講生の理解を促進するために、順序を入れ替えることがあります。				

	最後に、授業中、他の受講生の迷惑になる行動については慎んでください。特に私語は厳禁とし、私語を行っている受講生には教員が退室を促すことがあります。
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンラインで授業（同時双方向型ないしオンデマンド型）を行う可能性もあります。 初回授業で、それぞれの授業回の確定した授業方式を伝えるため、この講義の受講の意思がある場合、また受講するか否かを検討している場合には第1回目の授業に出席してください。
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	教科書は用いず、毎回の授業で配布するレジュメ、資料、参考文献等に基づいて講義を進めます。受講生には「メモ」をとることを習慣づけ、自分だけのノートを作成していくことを心がけてほしいと思います。なお、ポータルサイトでの資料配布を行うため、授業の前にはポータルサイトを確認し、適宜資料の印刷を行っておいてください。	教科書(ISBN)	なし。
参考文献	石畑良太郎・牧野富夫・伍賀一道編著（2019）『よくわかる社会政策 第3版 雇用と社会保障』ミネルヴァ書房。 石井まこと・所道彦・垣田裕介編（2024）『社会政策入門—これからの生活・労働・福祉—』法律文化社。 岩永理恵・卯月由佳・木下武徳（2018）『生活保護と貧困対策その可能性と未来を拓く』有斐閣ストゥディア。 堀川祐里編著（2024）『労働環境の不協和音を生きる 労働と生活のジェンダー分析』晃洋書房。	参考文献(ISBN)	なし。

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--